

## IoTとガラパゴス

第5期科学技術基本計画にIoTが取り上げられます。

IoTとは「Internet of Things」の略で、ネット検索すると次のように書かれていました。

『IoTとは、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり、相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと』 <http://e-words.jp/w/IoT.html>

既に実用化が進んでいるIoTにどんなThingがあるか考えてみました。

警備会社の警備システム、コンビニのPOS、カーナビや中国で大受けしたコマツの建機ビジネス「KOMTRAXS」などなど、他にもたくさんあるでしょう。

第5期科学技術基本計画に取り上げられることでIoTの研究開発に拍車がかかるのですが、その際に考えていただきたいことがあります。

本当にその製品にその機能が必要ですか、費用に見合った機能ですか、環境に優しいですか、社会問題化しませんか等々です。

企業は金儲けが目的ですから、何よりも、売れますか、儲かりますかと言う視点に立って開発していただきたいのです。アップルのジョブズは自分が欲しい、買いたいものを追求しただけだと言っています。iPhoneもiPadも発明したのではありません。その辺の技術を寄せ集めて、使い勝手の良い形に製品化してプレゼンしただけなのです。

以前から、有料駐車場以外であけることのない自動車のパワーウィンドウは要らないと思っていました。カーナビに最短距離で案内を頼んだら、細い側道を走らされ、却って時間が掛かったことも何度かあります。機械は融通が効くのか心配になります。その意味で、レシピ通りに作る自動調理機などあってほしくありません。材料が全部揃わないと調理してくれないのではないですか。

次のようなIoTが、たくさん出てくるのではと今から心配しています。

- ・洗濯機につける洗剤、柔軟剤等の自動計量機（コスパが悪そう。洗剤も進化します）
- ・冷蔵庫の在庫管理システム、ドアの開閉管理（メリットが分かりません）
- ・外部操作で電源を入れるクーラー（急に冷たい部屋に入ると体に悪い？）
- ・外から遠隔操作する風呂の湯沸しスイッチ（この場合、5分や10分の節約は意味が無い）等々。→こうした例を挙げてみて、今更ながら、発想の貧困を嘆いています。

IoT化が進むことで、何もできない人間が多くなることを恐れます。進化ではなく、人間が退化することが心配です。収入が増える見込みがないのに、機能満載で製品の値段が上がり、寿命が来る前に新たなガラパゴス製品を押し付けられるのも困りものです。

スマホ、パソコンですら限られた機能しか使いこなせないオジサンは、自分が使える機能だけを持った格安の使い易いスマホ、パソコンがあれば嬉しいのです。

なお、以上は全て、IoTに対する一人のオジサンの想いであって、第5期科学技術基本計画を何等、批判するものではありません。むしろ、IoTはドイツのインダストリー4.0も包含する大きな構想となり、我が国の目指すべき進化の方向になると信じています。

ところで、かなり前から、ガラパゴス島のイグアナやゾウガメ達が怒っているそうです。「俺達は、過酷な環境に必死に対応して生き残った成功者だ。日本のガラケーと一緒にされてたまるか」